

## 令和4年度 体力向上における各校の成果(小学校)

敦賀市

教育委員会

No	学校名		成 果
1	敦賀西	小学校	業間マラソンが実施しやすくなり、コロナの状況等違いはあるが、年間を通して業間運動ができ、昨年度に比べ業間マラソンの実施回数が増えた。 休み時間や昼休みに、なわとびに熱心に取り組む児童が増え、なわとび大会で目標が達成できた児童も大幅に増えた。
2	敦賀南	小学校	活動制限が継続している中でも、昨年度と同じくマラソンや縄跳びに意欲的に取り組んでいる児童が多く、コロナ禍以前の積み重ねの成果が現れていた。縄跳びに関しては、昨年よりも記録を伸ばす児童もあり、できることを続けてきた成果である。 タブレットを活用して自分の様子を確認したり、友達からアドバイスをもらったりして学習を進められた。 また、体育委員会の企画した活動にも、各学年・クラスで積極的に取り組んでくれていた。
3	角鹿	小学校	授業では、ICT活用と体育科教員との連携ができた。自分の動きを動画に撮影し、児童がふり返るとともに、体育科教員にアドバイスをもらうことができた。 業間運動や休み時間における運動できる場所と時間の確保を行い、体力向上を図ることができた。体力テストでは、17項目で県平均を上回った。
4	松原	小学校	業間運動にマラソンと縄跳びに取り組んだことで、全身持久力が向上した。 体力テスト項目の持久力に関する能力において、全国平均を上回る結果となった。
5	中央	小学校	準備体操に取り入れていたため、昨年度と比べてどの学年も「立ち幅跳び」が伸びた。 運動の苦手な児童も始業前からチャレンジマラソンに参加し、持久力やあきらめない心を高めることができた。
6	沓見	小学校	業間活動や体育的行事の活動を見直すことで、全校が目標を持って、継続的に活動に取り組むことができ、「たくましい心と体」を育むことができた。 また、本年度はタブレットを活用することでスポーツをすることだけでなく、スポーツの特性にあった動きについて考えることに楽しみを見出すことができた。 全国体力・運動能力、運動習慣等調査では、 『目標を意識して学習すること』『自分に合った練習の方法を選んで学習すること』『友達と助け合ったり、教え合ったりして学習すること』で、できたり、わかったりすることがあると対象児童全員が答え、授業での取り組みが児童の成長につながっていると考えられる。
7	東浦	小学校	瞬発力を高めるために、授業の始めや業間に、スキップやクロスステップ、サーキットトレーニングに取り組んだ。その結果、立ち幅跳びで小4男女、小5男女が、反復横跳びで小4男女、小5男子、小6女子が全国平均を上回るすることができた。
8	中郷	小学校	5月から年間通して持久走を継続的に実施したことで、20mシャトルランの数値は全学年男女とも全国平均を上回った。 全校でなわとび発表会に取り組んだことで敏捷性が高まり、反復横跳びで概ね全国平均を上回った。
9	栗野	小学校	工夫して運動する習慣が児童に定着し、昼休みには密集や接触、用具の共有など感染予防を意識しながら自分たちで考えて遊ぶ児童が増えた。 長縄月間において、回を重ねるたびに記録が伸び、児童の自信に繋がっていた。児童同士で教え合い、励まし合う姿も多く見られた。
10	栗野南	小学校	昨年に比べて「上体起こし」、「立ち幅跳び」において改善の傾向がみられる。総得点も昨年度に比べ高くなっている。 昨年度に引き続き、体育委員会主催のイベントに積極的に取り組む児童が多く、楽しみながら体を動かすことができた。
11	黒河	小学校	休み時間にも、子どもたちが進んでなわとびを行っていた。感染症予防の制限がかかる中、「元氣ZZ体操」「業間なわとび」と可能な限りの運動の場を子どもたちに提供することができた。